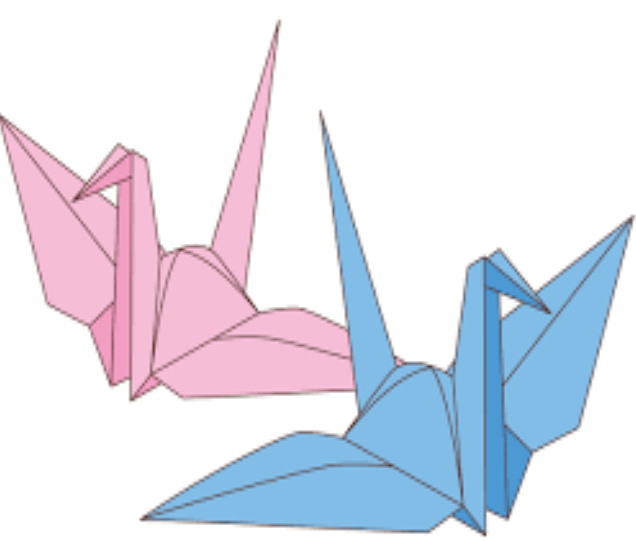


よねさとづくり通信 No.186

よねさとづくり協議会
令和7年8月1日発行

今年は戦後80年。各地で恒久平和を願うさまざまな催しが開催されていますが、米里地区でも8月15日には戦没者慰霊祭が執り行われます。世界各地で戦火は止まず、むしろ厳しくなっているように感じる今日ですが、改めて平和の大切さを考える時です。



永年の活動を顕彰



感謝状を受ける景下さん

自治会・よねさとづくり協議会全体会を開催

6月29日（日）、自治会・よねさとづくり協議会全体会が開催されましたが、協議に先立って、以下のお二人に感謝状が授与されました。20年以上にわたり地区住民に対する地域貢献活動をされたことが、自治会表彰内規に基づき顕彰に値すると、今年3月の自治会総会で承認されたものです。

- 景下明美さん（雲山南）・・・2005年から20年間、子ども英会話教室を通じて、異文化に触れ、共に楽しく学ぶ心を育まれました。
- 川上和身さん（久末）・・・2003年から22年間、米里ミニバスケットボールクラブの指導者として、子どもの健やかな心身育成に貢献されました。

協議の中では、自治会からの上半期の報告の後、「デジタル化」に向けた実践報告や、グループ討議が行われました。

<実践報告>

- ・デジタル化は各団体でも少しずつ進められていますが、体育会で実践している取組みを山根寿彦会長に報告していただきました。
- ・体育会では、現役世代の役員も多いのでグループLINEを活用していることや、役員会ではLINEミーティングを活用して完全リモートの会議を行っているそうです。

<グループ討議>

全体会の後、出席者は2グループに分かれて、米里の魅力や誇りづくりに向けて今後行いたい取組みについて意見を交わし、次のような提案が報告されました。

- ・「米」にこだわった企画（米を使った料理やイベントなど）
- ・大路山や古墳を身近に体験し、学ぶ企画（見晴らしをよくしたり、休憩スポットを設けたり）
- ・かるたウォークのように地域を巡る取組みを継続的に

「とりモビ」 求む！利用者の声

7月1日から運行エリアを拡大して再開された乗合交通「とりモビ」について、7月3日に利用説明会が開催されました。来年3月末まで国の補助金を受けて試験運行されますが、来年度以降は鳥取市としてよりよい移動交通方法を検討されるそうです。

そのためには、運行結果を検証することが必要になります。利用された方の評判は良いのですが、利用者は一部のかたにとどまっているのが現状です。改善を含めた本格導入につなげるためには、多くのかたの利用、そして、意見や感想が必要です。いつもは家族に送り迎えを頼んでいるかたも、一度使ってみてください。

利用方法は簡単です。電話での予約もできますが、スマホで予約すると便利です。

（利用パンフレットは公民館にも置いてあります。）

バスでもタクシーでもない「とりモビ」です。



デジタルで自治会活性化 ～義務を選択に変える～

（町内会長研修会の報告）

自治会（町内会）への加入促進が課題となっている中、7月1日、市自治連合会による町内会長研修会が開催されました。「デジタルで自治会活性化！ ～義務を選択に変える～」をテーマに、全国でも先駆的な取組みが紹介されました。講師は米子市旗ヶ崎二区自治会役員の坂本正巳さんで、自治会役員や防災士としての活動のほか、YouTube運営やスマホ教室講師など様々な活動に取り組まれています。

2年前には、次の役員候補者が見つからず、退会者も相次ぐなど解散の危機にあった自治会の大改革に取り組んだ結果、自治会員が爆増し、イベント参加者も爆増、役員全員が立候補になったそうです。組織も事業部制を廃止するなど大きく見直し、義務的な取組みをやめ、実行委員会方式でやりたいことをやりたい者同士でやろうということで、解散寸前だった自治会がよみがえり、加入率もアップしたそうです。

改革のポイントは、

①事業の見直し

- ・参加者がいない活動や時代遅れの活動は、いったん中止
- ・参加者がいる活動ややらないといけないことは、やり方を工夫

②知ってもらう

「回覧板のデジタル化」

- ・ねらいは、印刷や配布の手間を減らし、自治会への興味や関心につなげること
- ・「公式LINE」を無料で活用（毎月1回のみ配信）
- ・デジタル導入に不安の声もあるので、スマホ教室を月1回開催したり、紙の回覧板も併用、掲示板を設置
- ・半数が60～80代で、9割近くの世帯が登録し、様々な情報を活用



私たち米里でも、町内会に限らず、様々な団体でも参考になるのではないのでしょうか。講演の最後にはこう言われました。「これまでとやり方を変えることには、勇気とパワーが必要ですが、一歩踏み出すことで大きく変わります。」

町内会だより ～美和～

畑がきれいです。9か所ある畑は公園の花壇のようです。

畝で割られた野菜の種や苗は、日々大きくなり小さな花が咲き、青葉も大きく広く高く伸びて、実を付けおいしくいただきます。

これを横取りする輩が出没し、とても大きな落胆を置いて行かれます。狸、いたち、猪たちです。美和の里山はあなた方が自由に遊んでかまいませんが、出てこないでください。市道沿いの畑に御人様が現れ、収穫前の食べ頃の器量よしのものだけを作法も何もなく持ち去られました。美和に出没しないでください。今年も夏至の頃に蛍が一匹だけですが、飛んでいました。大歓迎です。水道山の急な斜面は今年も草刈がされました。今の時期（7月）、田んぼの稲も大きくなり、緑も濃くなり、畔草さえも4月5月の除草剤に打ち勝って元気な緑です。

前回ここに書いたとき、春なのにウクライナで戦争がはじまり、桜の木のことを書きました。夏草にも平和を願っています。美和はいいところです。でも来ないでね、輩たち。

（美和区長 田中幸博）



よねさとづくり協議会のホームページ



YouTube「米里チャンネル」



Instagram 「よねさとづくり協議会」

